

令和8年度（第19回）国土交通大臣賞〈循環のみち下水道賞〉

防災・減災部門

消防局・上下水道局合同

下水マンホール内事故に備える生体要救助者救出訓練

横須賀市上下水道局

受賞事例の概要

- 硫化水素の発生を想定したマンホール内の二次災害防止策の検証
- 消防局と上下水道局の連携体制強化のための実践的訓練

座 学

二次災害防止

- ・ 下水道施設の仕組みについて
- ・ 下水道関連事故事例について
- ・ 上下水道局の安全対策の取り組み

訓 練

実マンホール施設での生体要救助者救出訓練の実践
役割分担及び連携手順の確立
危険認識から救助実行までの訓練を一連の流れで実施

<第1段階>
危険認識

<第2段階>
初期対応

<第3段階>
救助実行

【訓練No.1】

下水道施設内点検作業中に施設内に2名転落

【訓練No.2】

下水道マンホール施設内の確認作業中に施設内に3名転落

参加者

消防局35名、上下水道局32名 合計67名参加



PRポイント!

【全国的にも先進的な合同訓練】

1 実践型訓練

上下水道局が所管する、**実際のマンホール施設**を使用し、**実践型の合同訓練**を実施

2 「生体要救助者想定」の訓練

『酸欠・硫化水素』などの危険環境を前提に「**生身の人間**」を要救助者と想定した、**より現実的な救出訓練**を実施

3 二次災害抑止を目指した訓練

下水マンホール内の硫化水素発生メカニズム等を共有後、現場到着から要救助者搬出までの**両局の連携を具体化**

取組の効果!

1 二次災害抑止への認識向上

実際のマンホール施設を使用し、「緊急時の対応」を実体験することで、参加者の「**二次災害**」に対する**認識**が大きく向上

2 消防局と上下水道局の連携体制の強化

両局の連携手順を明確化することで事態発生時の判断の迷いが軽減され、互いの専門性の理解と尊重が深まり、日頃からの**相互連携の重要性**が共有され、組織文化の改善に寄与

Key Person



・中央消防署高度救助隊のメンバー
・上下水道局 技術部 計画課
千葉 修平・中山 慎

下水道関連の労働災害は各地で毎年発生していますが、実際のマンホールを使用した訓練の機会は限られていました。本訓練は、「実際のマンホールで訓練したい」という消防局の強い思いもあり実現しました。

初めての取組であったため、訓練の目的や安全対策、両局の役割を丁寧に整理し、合意形成を進める必要がありました。また、安全な訓練現場の確保などにも時間を要しましたが、関係者の協力と助言に支えられ、困難を乗り越えることができました。今回の経験を通じて、両局の連携の重要性を改めて強く認識しました。これからも、市民の安全・安心を守るため、両局の協力体制を一層強化してまいります。